

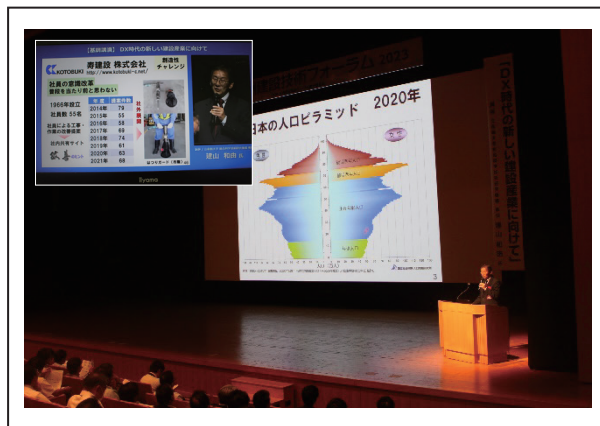
事業報告書

1 支援団体名	九州建設技術フォーラム実行委員会	
2 事業名称	九州建設技術フォーラム 2023	
3 実施日時	令和5年10月11日～12日	
4 実施場所	福岡国際会議場	
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及の促進をより効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、意見交換会等の形をとりながら連携を深め九州のさらなる建設技術の発展を目指すものである。</p> <p>今年は、メインテーマの「インフラ分野で深化するDX」を踏まえ、基調講演では立命館大学総合科学技術研究機構 教授 建山和由氏に講演いただいた。また、昨年同様、柳家小きん師匠の「土木×落語」を開催した。</p> <p>ブース展示は全体で 86 社・機関が出展した。また、技術の WEB サイトの情報発信にも 84 社・機関が参加した。</p>	
	<p>(事業実施効果)</p> <p>今年は、政府の通達及び福岡国際会議場の運営方針を踏まえ、新型コロナウイルス感染防止対策は実施せず、マスクの着用は来場者の判断に一任する形での開催となった。昨年に引き続き、来場者の受付は QR コード受付、基調講演の WEB 活用のライブ配信、技術の WEB サイトの情報発信、は今年も実施した。</p> <p>建設系学生へのリクルーティングプレゼンテーションは 1 日目のみとなったが、九州大学をはじめ 220 名の学生が参加し、建設業界のアピールが出来たと思われる。</p>	
6 参加内訳	総人数	2,436 名
	(1) 主催者参加	50 名
	(2) 日本人参加 ((1) を除く)	2,386 名
	(3) 外国人参加 ((1) を除く)	0 名
7 今後の方針	<p>運営の効率化のため、引き続き来場者の受付をQRコード受付とする。さらに、アンケート結果等を踏まえ、基調講演の WEB 活用のライブ配信も引き続き実施する。また、「土木×落語」や、昨年の「写真展」のような新しい企画を考えたいと思う。</p>	

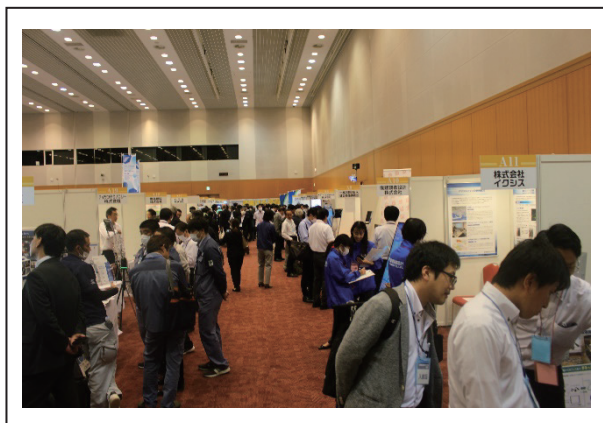
開会式(委員長挨拶)



基調講演(+WEB 配信)



ブース展示状況



「土木×落語」講演状況



プレゼンテーション状況



リクルーティングプレゼンテーション状況

